



株式会社ECOMAP (エコマップ)

取締役CEO 三輪範史氏

月桃と鉱物という北大東島の新たな魅力。
地域資源を最大活用し、ブランド化を目指す。

連携パターン

製造者主導による商品開発

参入のきっかけ

産業振興と地域活性化



北大東島にある工場。ここですべての製品が作られている。

■北大東島の鉱物がサプリに

北大東村に、島内に自生している月桃を加工する施設がある。年間を通して収穫できる月桃を活用した製品開発で農業振興につなげようと、2010年に設立された。

株式会社ECOMAPは、月桃加工施設の管理運営を受託し、これまでにアロマ機材の原料や基材、芳香・消臭・除菌スプレー、化粧品などの様々な製品を県外の東急ハンズやロフトなど大手生活雑貨店で販売してきた。中でも北大東島をイメージした男性向けの香水は、有名な調香師が特別に協力してくれたもので、これまでにない注目製品だ。

さらに今年11月、北大東村とECOMAPは月桃の粉末と北大東島で採掘される鉱物「ドロマイト」を組み合わせたサプリメントを開発した。

カルシウムとマグネシウムを含んだサプリは「カルマグゲットウ」と名付けられ、手始めに那覇市で開催された離島フェアで発売したところ手応えは上々で、今後は県内外のわしたショップや豊見城アウトレットモールあしびなー内の島んちゅぬ宝プラザ、インターネットなどで販売する予定だという。

■今後の展望

ECOMAPの三輪範史取締役CEOは月桃に大変詳しい人物で、これまでも様々な月桃製品開発や沖縄の未使用資源の有効活用に取り組んでいる。三輪氏によれば、北大東島は月桃やドロマイトなどの豊富な資源に恵まれているという。

「ドロマイトは石灰岩が5000万年かけて変化したもの。人間に必要なカルシウムとマグネシウムの理想比率である2対1で成る鉱物です。北大東島は、地質調査の結果、島全体がほぼドロマイト化している世界でも貴重な島であることがわかりました。」

ドロマイトは主に建築材料や農業用の土地改良材として

利用されているが、質の良いヨーロッパ産のドロマイトは一部サプリメントとして利用されてきた。北大東村のドロマイトは質が良くサプリメントとして有用といわれているが、加工に手間や費用がかかるためあまり活用されてこなかった。そこで北大東村とECOMAPが共同で研究を重ね、今までにない低コストでの開発に成功した。今後は製品としてだけでなく、原料として世界への輸出も狙う。

また、同社は工場施設の管理運営だけでなく、製品の企画、月桃の収穫から加工、販売までを一手に担っている。

今後もしろんな企画があり、まずは月桃を利用した化粧品シリーズの一環としてクレンジングオイルの販売を間近に控えているそうだ。

沖縄県や北大東村の協力と島の未使用資源、そして月桃のエキスパートである三輪氏の尽力によって、北大東島から次々と魅力的な製品が生まれている。

問い合わせ先

株式会社ECOMAP

沖縄県那覇市寄宮1-31-22

TEL : 098-894-3696

URL <http://www.ecomap.co.jp>



新発売のサプリ「カルマグゲットウ」と、原料のドロマイト。北大東島で発掘されるドロマイトは純度が高いのが特徴。天然由来成分でスポーツや成長期の栄養補助にぴったりだ。